

関連産業振興委員会

◆中期計画

関連産業振興委員会では委員会全体の運営を取りまとめる運営委員会のもと3専門委員会(関連産業専門委員会、学術専門委員会、研修・連携専門委員会)を置き、経済・技術環境等の外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、JIRA 関連産業(モダリティ機器、ソフトウェア、周辺機器、関連用品、関連工事、測定管理、保守サービス等)の発展振興のための施策を企画、推進する。

◆2024年度活動

JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 を受けて、関連産業振興委員会としては以下の事業活動に注力する。Web 会議を活用し実現が可能な内容に絞って活動展開を図る。

- Web 利用を中心に委員会活動を通じてタイムリーな話題に着目し、企業が必要とする情報を提供し製品開発・活動のヒントになる活動をする。
 - JIRA 産業の振興と関連領域との連携強化・「データが変える医療」の実現に向けた環境整備・医療機器に即した法規制、保険制度の実現・グローバル市場での競争力の強化・持続可能な医療を提供する産業構築)等に着目し、情報提供をする。
- 委員会内の役割分担を明確にし、新規委員募集とともに世代交代も含め委員会活動の活性化を図っていく。

(1) 運営委員会

- ◆ 関連産業振興委員会各専門委員会の活動状況等の情報共有並びに抱える課題解決について協議し、基本方針を決定する。
- ◆ カンフェレンスパーク活用検討 WG の活動
 - 関連産業振興委員会主催セミナー開催(2回/年)
 - 医療従事者との情報提供などの連携強化
 - 医療従事者から JIRA 会員向け2回/年、JIRA から医療従事者会員向け6回/年 12 テーマ予定

(2) 関連産業専門委員会

- ◆ 政策企画会議・各専門委員会からのタイムリーな情報提供
- ◆ 会員の関心のある話題について情報提供
- ◆ 課題の創出
- ◆ JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 に沿って外部有識者の専門委員会での講演会開催

(3) 学術専門委員会

- ◆ 日本放射線技術学会(JSRT)との連携を主体に事業を推進する。2024年度の事業計画としても、これまでの活動を継続し、総会学術大会、秋季学術大会、東京支部大会(春、秋)での共催イベントの企画運営を行う。下記を重点項目として推進する。
- ◆ 日本放射線技術学会(JSRT)との関係強化
 - 医療の質向上のために、AI等の新たなデジタル技術の活用についてJSRTと継続して議論し、医療現場への導入拡大につなげていく。
 - JSRT 学会誌へ JIRA の活動を紹介した JIRA トピックスを、掲載して頂くための各種アレンジを行う。
 - JSRT 学会誌の編集委員として、JIRA メンバーを JSRT 編集委員会へ派遣する。
 - JSRT 東京支部への JIRA メンバーの派遣、及び JSRT 東京支部と JIRA の連携イベントの企画運営を行う。
- ◆ 学会時の JIRA 発表会、JIRA ワークショップの企画運営
 - JSRT 学会での JIRA 発表会、JIRA ワークショップ等の企画運営を行い、時代の変化に応じた情報連携の場を提供する。

(4) 研修・連携専門委員会

- ◆ 主に会員企業に対して、医療関係を中心にした幅広い分野に関する情報発信を行う。併せて、会員相互の交流及び他団体（技師会、アカデミア、他医療業界、行政など）との連携を図る。
 - ITEM 見学ツアーの開催（対象：JIRA 会員企業の主に中小若手社員）毎年 4 月。
 - 研修会・講演会の開催（対象：JIRA 会員及び JIRA 外部も含む）年 2 回。
 - 施設見学会など、委員の見識を広める活動を企画する（医用画像システム部会との合同開催も検討）。